



Cisco HX リリース 5.5 (x) -ソフトウェア要件

- [Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.5\(x\) リリース](#) (1 ページ)
- [FI/サーバーファームウェア - 5.5\(x\) リリース](#) (5 ページ)
- [5.5 \(x\) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス](#) (7 ページ)
- [ストレッチ クラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データ プラットフォーム ソフトウェア バージョン - 5.5\(x\) リリース](#) (8 ページ)
- [VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.5\(x\) リリース](#) (9 ページ)
- [ブラウザの推奨事項 - 5.5\(x\) リリース](#) (10 ページ)

Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細 - 5.5(x) リリース

クラスタの制限

- Cisco HX Data Platform は、[VMware の最大設定](#)に従って、vCenter ごとに管理される最大 100 のクラスタをサポートします。
- Cisco HX Data Platform は、1つの FI ドメインで任意の数のクラスタをサポートします。各 HX コンバージド ノードは、FEX を使用せずにファブリック A とファブリック B の専用 FI ポートに直接接続する必要があります。C シリーズのコンピューティング専用ノードも、両方の FI に直接接続する必要があります。B シリーズのコンピューティング専用ノードは、シャーシ I/O モジュールを介して両方のファブリックに接続されます。最終的に、FI 上の物理ポートの数により、UCS ドメインでサポートされる最大クラスタ サイズおよび個別のクラスタの最大数が決定します。
- ファブリックインターコネクトを Top of Rack (ToR) スイッチに接続するアップリンクポートで FEX を使用することはサポートされません。これは、ネットワークがオーバーサブスクリプションになり、HyperFlex ストレージトラフィックを障害シナリオで処理できなくなる可能性があるためです。

次の表に、Cisco HX Data Platform の互換性と拡張性の詳細を示します。

表 1: Cisco HX Data Platform ストレージクラスタの仕様 (VMWare ESXi 向け)

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスタ * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HX サー バー (Intel および AMD サー バー)	HXAF245CM6SX	HX240C-M6L	HXAF245-M6SX	HXAF245CM6SX	HXAF245CM6SX	HX240C-M6L
	HXAF240CM6SX	HX240C-M5L	エッジ	HXAF240CM6SX	HXAF240CM6SX	HX240C-M5L
	HXAF240CM6SN		HXAF240C M5 Edge	HXAF240CM6SN	HXAF240CM6SN	
	HXAF240CM6SX		ショートデ プス	HXAF240CM6SX	HXAF240CM6SX	
	HXAF240CM6SN		HXAF240C	HXAF240C-M5	HXAF240C-M5	
	HXAF240C-M5		M5 Edge フル デプス	HXAF225C-M6S	HXAF225C-M6S	
	HXAF225C-M6S		HXAF240	HXAF220CM6SN	HXAF220CM6SN	
	HXAF220CM6SN		M5 Edge フル デプス	HXAF220CM6S	HXAF220C-M6S	
	HXAF220C-M6S		HXAF240 M6SX Edge	HXAF220C-M5	HXAF220CM6SN	
	HXAF220CM6SN		HXAF225-M6SX	HX245C-M6SX	HXAF220C-M5	
	HXAF220C-M5		エッジ	HX240C-M6SX	HX245C-M6SX	
	HX245C-M6SX		HXAF220C	HX240C-M6	HX240C-M6SX	
	HX240C-M6SX		M5 Edge	HX240C-M5	HX240C-M5	
	HX240C-M5		HXAF220	HX225C-M6S	HX225C-M6S	
	HX225C-M6S		M6S Edge	HX220C-M6S	HX220C-M6S	
	HX220C-M6S		HX245-M6SX	HX220C-M6	HX220C-M6S	
	HX220C-M5		エッジ	HX220C-M5	HX220C-M5	
			HX240C M5 Edge ショー トデプス			
			HX240C M5 Edge フルデ プス			
			HX240 M6SX Edge			
		HX225-M6SX エッジ				
		HX220C M5 Edge				
		HX220 M6S Edge				

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスター * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
コンピューティング専用 UCS B シリーズ/C シリーズサーバー	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5 C225 M6 C245 M6	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5	—	C220 M6 C220 M5 C225 M6 C245 M6 C240 M6 C240 M5	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5 C225 M6 C245 M6	B200 M6 B200 M5 B480 M5 C220 M6/M5 C240 M6/M5 C480 M5
サポートされるノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドノードのみ	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード	コンバージドおよびコンピューティング専用ノード
HXDCD ライセンス取得済みノードの制限 HXDCD 対コンピューティング専用ノードの比率の 1:1 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32 NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 16	M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 12 NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	なし	なし

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスタ * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
HNDQR ライセンス取得済みノードの制限 HNDQR 対コンピューティングノードの比率 1:2 MinMax	コンバージドノード: 3 ~ 32 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで) NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: 3 ~ 16 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 32	M5 コンバージドノード: 2、3、または 4	コンバージドノード: 3 ~ 12 コンピューティング専用ノード: 0 ~ 24 HXAF220c M6SN に必要 HXAF240c M6SN HXAF220c M5SN NVMe PID はすべて HXDP-DC-PR ライセンスが必要です	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 16 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 21 (最大クラスタサイズまで) コンピューティング専用ノード: 0 ~ 64 (最大クラスタサイズまで)	コンバージドノード: サイトごとに 2 ~ 8 コンピューティング専用ノード: サイトごとに 0 ~ 16 (最大クラスタサイズまで)
クラスタの最大サイズ	96 ¹	48	4 2022年5月2日、Shankar Srikanta からの情報により、4に更新 (rickwo)	36	サイトあたり 32/クラスタあたり 64	サイトあたり 24、クラスタあたり 48
コンピューティングからコンバードへの最大比率	2:1	2:1	—	2:1	2:1	2:1

ノード	VMware ESXi				ストレッチ クラスタ * (ESX でのみ使用可能)	
展開タイプ	FI 接続		エッジ	DC-No-FI	FI 接続	
説明	✓	✓	✓ ²	✓	✓*	✓*

¹ 64 ノードを超えるクラスタサイズには、ESXi 7.0 U1 以降が必要です。

² 1G ネットワークトポロジでのエッジクラスタの拡張はサポートされていません

FI/サーバーファームウェア - 5.5(x) リリース

新しいクラスタをインストールするか、既存のクラスタをアップグレードして、UCS FI/サーバーファームウェアバージョンに関するガイダンスが必要な場合は、[UCS サーバーファームウェアバージョンの選択](#)を参照してください。

全ての NVMe ノードでクラスタをインストールまたはアップグレードしている場合、以下のノートを参照してください。

表 2: M5/M6 サーバーの FI/サーバファームウェアバージョン

リリース	M5 認定 FI/サーバーファームウェア	M6 認定 FI/サーバーファームウェア
HXDP 5.5(1x) の 5.5(1x) ³	4.2(1f)、4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)、4.2(3e)、4.2(3g)、4.2(3h)	4.2(1i)、4.2(1m)、4.2(1n)、4.2(3d)、4.2(3e)、4.2(3g)、4.2(3h)

³ HX240 M6 SED クラスタは、サーバーファームウェアバージョン 4.2(3g) でのみサポートされます。

重要な FI/サーバーファームウェアに関する注意事項：



制約事項 **3.6Tb および 7.8Tb 容量の Samsung SSD を使用する HXAF240-M5 クラスタ**：UCS 4.2(3) 以降をインストールしたり、UCS 4.2(3) 以降にアップグレードしたりしないでください。UCS 4.2(1n) A/B/C は、これらのドライブとの互換性が最も高いバージョンです。Samsung ドライブ (PID HX-SD76T61X-EV または HX-SD38T61X-EV (UCS-SD76T61X-EV または UCS-SD38T61X-EV)) を搭載したこれらのサーバーを UCS 4.2(3) 以降にアップグレードすると、サーバーの再起動後またはファームウェア中にドライブ障害が発生する可能性があります。詳細については、[CSCwf93621](#)を参照してください。

- **レガシー BIOS モード**：レガシー BIOS モードを使用しているすべての NVMe HyperFlex クラスタまたは、NVMe をキャッシングデバイスとして使用してレガシー bios を使用し

ているすべてのフラッシュは、サーバーファームウェアを 4.2(1m) または 4.2(1n) にアップグレードしません。詳細については、[CSCwd04797](#)を参照します。

BIOS バージョンを確認するには、[ファームウェアバージョンの確認](#)を参照します。

- **ファブリックインターコネクト 6400** : ご使用の環境 (または展開) が、SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリックインターコネクト 6400 である場合は、UCS リリース 4.0 (4k) または 4.1 (2a) 以降のみを使用してください。認定リリースの表に記載されている他の UCS バージョンは使用しないでください。UCS リリース 4.0 (4k) 、または 4.1 (2a) 以降でない UCS リリースを使用すると、クラスタが停止する可能性があります。

環境に影響する可能性のある UCS の問題については、『[UCS Manager、ファームウェア/ドライバ、およびブレード BIOS のリリース ノート](#)』を参照してください。

SFP-H25G-CU3M または SFP-H25G-CU5M ケーブルを使用して VIC 1455/1457 に接続されているファブリックインターコネクト 6400 に対してのみ、次のアップグレードシーケンスを使用します。

- HX Connect から UCS サーバファームウェアをアップグレード
- Cisco UCS インフラストラクチャをアップグレード
- HXDP をアップグレード
- ESXi をアップグレード

記載されているハードウェアとソフトウェアの組み合わせの場合、UCS サーバファームウェアの複合アップグレードはサポートされません。ただし、HXDP と ESXi の複合アップグレードは、UCS サーバファームウェアと UCS インフラストラクチャファームウェアのアップグレードが完了した後にサポートされます。

現在の UCS F/W バージョンが 4.0(4k) または 4.1(2a) 以降の場合、UCS サーバファームウェア、HX、ESXi の組み合わせアップグレードがサポートされます。

- **Intersight エッジサーバー** : 4.0 (1a) 以前の CIMC バージョンを実行している Intersight エッジサーバーについては、HUU にはファームウェアを更新するためのメカニズムが提案されます。

SED 注記 :

- 自己暗号化ドライブ (SED) を備えたクラスタの場合 :
 - HXDP バージョン 5.5(1x) の HX 240 M6 ノードは、サーバーファームウェアバージョン 4.2(3g) のみを使用します。
 - HXDP バージョン 5.5(1x) の M5/M6 ノードは、サーバファームウェアバージョン 4.2(3d) 以降を使用します。

M6 固有の注記 :

- M6 サーバーで PCIE オフロードカードを使用する場合は、サーバーのファームウェアバージョン 4.2(1m) 以前、または 4.2(3g) 以降を使用してください。
- HX225 および HX245 M6 AMD ノードには、最小サーバー ファームウェア バージョン 4.2(1n) 以降が必要です。

一般的な注記 :

HX コンポーネント (Cisco HX Data Platform インストーラ、Cisco HX Data Platform、および Cisco UCS ファームウェア) は、別個のサーバーにインストールされます。HX ストレージ クラスタ内で使用される各サーバーの各コンポーネントに互換性があることを確認します。

- 事前設定された HX サーバーと、インストールされている Cisco UCS サーバーファームウェアのバージョンが同じであることを確認します。Cisco UCS ファブリック インターコネクト (FI) のファームウェアバージョンが異なる場合、ファームウェアバージョンを配置する手順については『Cisco HyperFlex System アップグレードガイド』を参照してください。
 - **M5:** 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ (Cisco HyperFlex HX220C-M5SX、HX240C-M5SX、HXAF220C-M5SX、HXAF240C-M5SX) 展開の場合、認定された UCS ファームウェアバージョンがインストールされていることを確認します。
 - **M6:** 新しいハイブリッドまたはオールフラッシュ (Cisco HyperFlex HX220C-M6SX、HX240C-M6SX、HXAF220C-M6SX、HXAF240C-M6SX、HXAF225C-M6S、HXAF245C-M6SX、HX225C-M6S、HX245C-M6SX) 展開の場合、Cisco UCS Manager 4.2 (1i) 以降がインストールされていることを確認します。
- HXサーバーを再インストールするには、サポートされている互換性のあるソフトウェアのバージョンをダウンロードします。要件とステップについては『[Cisco HyperFlex Systems Installation Guide for VMware ESXi、リリース 5.5](#)』を参照してください。

5.5 (x) 展開向け HyperFlex Edge/DC-No-FI およびファームウェア互換性マトリックス

Cisco HX Data Platform リリース 5.5(x) に基づく導入

サーバの M5/M6 コンポーネント ファームウェアが、次の表に示されている最小バージョン以上であることを確認します。

表 3: M5 および M6

コンポーネント	対象のファームウェアバージョン-HXDP5.5(x) *このセクションの冒頭にあるすべての注記を確認してください。
ホストアップグレードユーティリティ(HUU)バージョン	4.1(3f)、4.1(3h)、4.1(3i)、4.2(1i)、4.2(2g)、4.2(3d)、4.2(3e) および 4.2(3g) 220 用のソフトウェアのダウンロード 240 用のソフトウェアのダウンロード 次に、UCS サーバーファームウェア リンクをクリックして、目的の HUU バージョンをダウンロードします。
(注)	すべての NVMe ノードは、HX エッジ展開ではサポートされていません。



(注) HX Edge M6 ノードには、最小サーバファームウェア バージョン 4.2(1i) 以降が必要です。

ストレッチクラスタ用 HyperFlex 補助ノードの HX データプラットフォームソフトウェアバージョン-5.5(x) リリース

HXDP 5.5(1a) を使用した新しいストレッチ クラスタは、サイト アービトレーション用に非表示のクラウド監視を自動構成します。非表示クラウドウィットネスは、最新のバージョンを自動的に実行します。このコンポーネントのユーザメンテナンスは必要ありません。以前の HX リリースからアップグレードされたストレッチ クラスタは、既存の 3 番目のサイト監視 VM で引き続き動作します。



(注) 以前の HXDP リリース (HXDP リリース 5.0(x) 以前) からアップグレードされたストレッチ クラスタは、「[Cisco HyperFlex システム ストレッチクラスタガイド、リリース 5.0](#)」および「[VMware ESXi 向け Cisco HyperFlex システム アップグレードガイド、リリース 5.0](#)」で説明されているように、既存の 3 番目の監視のアップグレードを引き続き使用します。次の表に、サポートされている最新の監視 VM バージョンを示します。

ストレッチ クラスタ **HXDP 5.0(x)** 以前のレガシー **HyperFlex Witness** の **HXDP** ソフトウェアバージョン

- 補助ノードのバージョン : 1.1.3



(注) 旧バージョンの VM は、最新の HXDP バージョンにクラスタがアップグレードされるとサポートされます。

VMware ESXi のソフトウェア要件 - 5.5(x) リリース

ソフトウェアの要件には、互換性のある Cisco HyperFlex System (HX) コンポーネントおよび VMware vSphere、VMware vCenter、VMware ESXi のバージョンを使用していることの確認が含まれます。

- すべての HX サーバーに、互換性のある vSphere のバージョンがプレインストールされていることを確認します。
- vCenter のバージョンが ESXi のバージョンと同じかそれ以降であることを確認します。
- ESXi バージョン 7.0 U1 以前を実行しているクラスタは、ESXi 7.0 U2 以降で HXDP 5.5(1a) への複合アップグレードを実行する必要があります。
- HXDP リリース 4.0(2x) 以降を実行しているクラスタは、5.5(1a) に直接アップグレードできます。
- [VMware Product Interoperability Matrix](#) を参照して、vCenter と ESXi のバージョンに互換性があることを確認してください。ただし、このセクションのソフトウェア要件表に ESXi と vCenter の両方がサポート対象として記載されている場合に限りです。
- ルートレベルの権限および関連パスワードが付与された vCenter 管理者アカウントがあることを確認します。

次の表は、VMware vSphere の Enterprise、Enterprise Plus、Standard、Essentials Plus、ROBO エディションに適用されます。上記以外の VMware のライセンスエディション (Essentials Edition を含む) はサポートされていません。

表 4: VMware ESXi のソフトウェア要件

バージョン	M5 サーバーの VMware ESXi バージョン	M6 サーバーの VMware ESXi バージョン
5.5(1a)	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1

表 5: VMware vCenter のソフトウェア要件

バージョン	M5 サーバーの VMware vCenter バージョン	M6 サーバーの VMware vCenter バージョン
5.5(1a)	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1	7.0 U2、7.0 U3、8.0 U1

ブラウザの推奨事項 - 5.5(x) リリース

一覧表示された HyperFlex コンポーネントを実行するには、次のブラウザのいずれかを使用してください。これらのブラウザはすでにテストされ、承認済みです。他のブラウザも動作する可能性があります、すべての機能がテストされ、確認されているわけではありません。

表 6: サポートされるブラウザ

ブラウザ	Cisco Intersight	Cisco UCS Manager	HX Data Platform インストーラ	HX Connect
Microsoft Internet Explorer	NA	11 以降	11 以降	11 以降
Google Chrome	62 以降	57 以降	70 以降	70 以降
Mozilla Firefox	57 以降	45 以降	60 以降	60 以降
Apple Safari	10 以降	9 以降	該当なし	該当なし
Opera	該当なし	35 以降	該当なし	該当なし

注

- **Cisco HyperFlex Connect:**

推奨される最小解像度は 1024 x 768 です。

- **VMware ローカル プラグインアーキテクチャ:** サポートは、vSphere バージョン 6.5、6.7、および 7.0 に制限されています。詳細については、VMware サイトの「[vSphere Client Local plugins are deprecated \(87880\)](#)」の記事を参照してください。

- **Cisco UCS Manager:**

ブラウザは以下をサポートしている必要があります。

- Java ランタイム環境 1.6 以降
- 一部の機能には、Adobe Flash Player 10 以降が必要です。

ブラウザの最新情報については、Cisco UCS マネージャの導入についてのスタートアップガイド [Cisco UCS マネージャ スタートアップ ガイド](#) を参照します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。